

【2018年9月15日～2018年9月21日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに下落しました。トルコの2年国債金利は上昇しました。

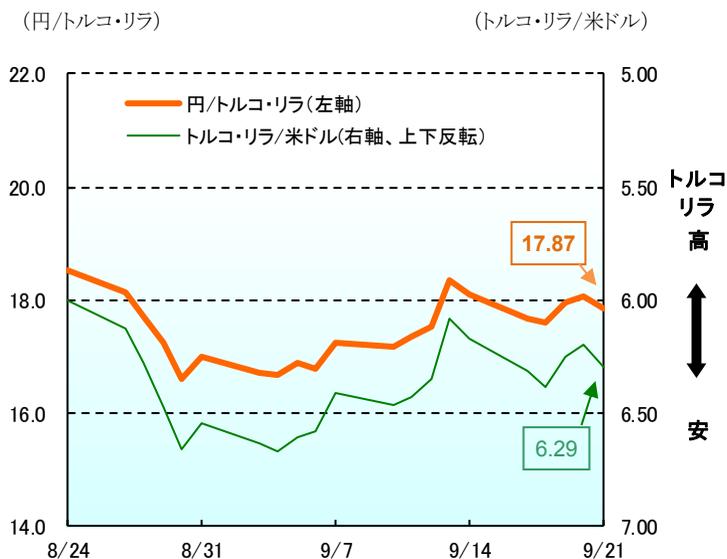
週初にエルドアン大統領が、総資産で同国上場最大手銀行のトルコ勸業銀行について、最大野党の保有株式を政府に移管するべきだと主張しました。大統領による経済への介入が再度意識され、投資家の不安が強まりました。また、20日(現地、以下同様)に中期的な経済政策が発表されましたが、低めの成長率見通しが示されたことで大規模な財政出動に対する懸念は後退したものの、期待されていた銀行支援の具体的内容がなかったことが失望につながりました。

【2】今週の見通し

今週はエルドアン大統領が国連総会に出席するため米国に滞在しており、その言動に注目が集まっています。対米関係悪化の原因の一つである、拘束中の米国人牧師に関しては、10月12日にトルコの裁判所に出廷する予定ですが、エルドアン大統領が米国滞在中に、米国側とトルコ側の双方から、関係改善に向けての何らかの譲歩の動きがあるかどうか注目されています。

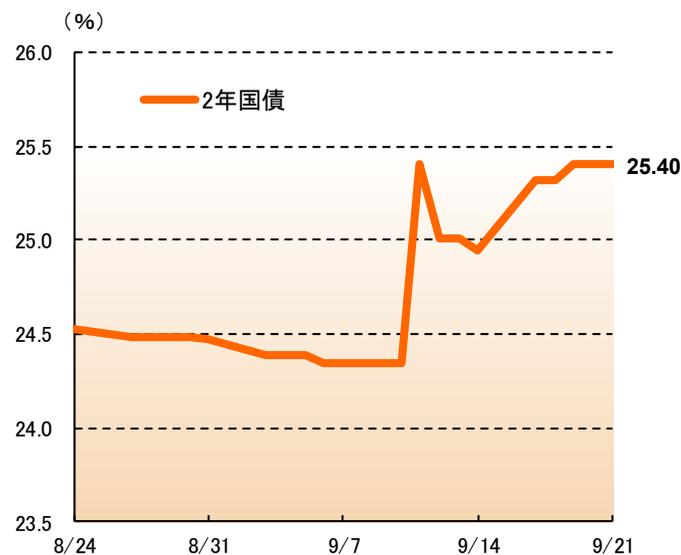
また、経済指標では貿易収支の発表が予定されています。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2018年8月24日～2018年9月21日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【トルコ 金利推移】 (2018年8月24日～2018年9月21日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>